

科目名 (科目番号)	老年看護学実習Ⅱ (健康障害者の看護) (時間割参照)	教員名 佐藤圭子 看護学科教員	学科等	看護	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	3
			授業形態	実験・実習	オフィスアワー		
授業概要	健康障害がある高齢者に対する看護援助を通して、基礎的知識、技術、態度を養う。						
目的・目標	高齢者の身体的機能、社会・家庭生活の変化、心理的特徴、日常生活動作の評価から、その人の残存機能をいかし、QOLを高めるための看護について考える。また、看護職と他職種間のチームの連携の実際についても学習し、看護の役割を考える。さらに、高齢者への看護活動より考察した自己の高齢者観を述べる。						
準備学習							
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容				
	到達目標 1) 加齢による身体機能の変化や、精神的・社会的な特徴を理解できる。 2) 対象がかかえる疾病や生活機能障害、残存機能などを理解し、看護を実践することができる。 3) 保健医療福祉チームと看護職の連携を通して、看護師の役割が理解できる。 4) 看護学生として倫理をわきまえた態度（言動）がとれる。 5) 実践した看護をとおして、老年看護への理解と関心を深めることができる。 学習内容 老年期の入院患者を1名以上受け持ち、看護の実践を通して、健康障害のある高齢者および家族を総合的に理解し、老年看護に必要な基礎的実践能力を養う。						
成績評価の方法・基準	老年看護学実習要項の実習評価表に基づき、評価する。						
教科書	既購入書籍						
参考図書	随時紹介する						
教員からのメッセージ	健康障害のある高齢者や家族の状況、他職種連携の必要性を理解し、科学的な根拠をもとに看護実践できるよう学習しましょう。また、対象者の生きてきた過去や価値観、尊厳をおろそかにしない心配りも大切にしてください。 グループでの行動や発表が多くなりますので、皆で協力し合う気持ちを大切にしてください。 病院で勤務した看護師がこの授業を担当します。						